

2019. 11. 2.

第21回糸賀一雄記念賞授賞式

「重い障害がある人たちが拓いてきた地域の暮らし」
～西宮での重度障害者の地域生活展開報告～

西宮市社会福祉協議会

清水 明彦

20歳で出会って一緒に還暦祝い



1. 青葉園は、重度障害者の生活拠点的場であり、またその場作りをめざし続ける。
2. 生活拠点的場とは、重度障害者一人ひとりが豊かに自己を実現し、いきいきとくらししていく為の土台となる場であり集団である。
3. 生活拠点的場であるためには
 - ①まず、通所者自身の健康管理・増進がはかられていなければならない。
 - ②園内の様々なきめこまかなとりくみによって、個性や可能性を見出し、のびし、十分に自己を実現していなければならない。
 - ③園が地域に開かれており、多くの人々とかかわりがもて、様々な機会が用意されるという、自由と豊かさがなければならない。

4. 青葉園のとりくみは、生産性・効率や、単なる身辺自立のみを追求する活動とは根本的に異なり、通所者や職員・親など園にかかわる全ての人たちが一体となって共に考え、悩み、理解し合い、そして主体的に生き会うくらしを創造していくことを基本目標にしている。

5. 青葉園は、重度障害者の生活拠点を作りあげていくことを通し、ひいては一般の人々すべての生活拠点作りの核となることをめざしている。いわば青葉園は、一般の人にとっても、一人ひとりが人間のあるべき姿を問い続け、失いかけている生活拠点を取り戻し、より豊かなくらしを作り上げていくための重要な公共的・社会的資源である。

6. 自己を十分に実現できる場をもち、いきいきと暮らしていくこと、またそれをめざし続けることは、人間として当然の姿であり願いである。それはどんなに障害が重くとも追求され続けられるべきであり、基本的人権のひとつである。

本人と支援者が共に創り出していく青葉園での「活動」
「活動」の中で生まれてくる1人ひとりの「物語」

内発的に必要となってきた一人ひとりの活動と支援の
「個人総合計画」(個別支援計画)

地域自立生活(一人暮らし)の始まりとその
「支援の輪」づくり

5

「活動」は地域の中から

- 地域との「活動」の中から生み出す
日中活動の可能性

独自(青葉のつどい)方式、芸術文化型、市民運動型、
商店型、NPO型、サークル型、等々

- 本人の存在の社会的価値化＝はたらき

本人のねうちをちゃんと位置づける

一人ひとりの存在の価値による支援の思想の確立

内発的に必要となってきた青葉園の『個人総合計画』



『活動』と『支援の輪』の『本人の計画』にもとづく
支援の仕組みの再構築



一人ひとりの存在の価値にもとづく、支援の展開

7

地域の生活主体者として地域で包摂
された

地域生活主体者原則

地域で役割を持ち社会の価値観を
変革する

地域変革主体者原則





《倒壊した生活ホーム》



《生活ホームから避難してきたTさん》



《完成した仮設ホームでの生活がスタート》

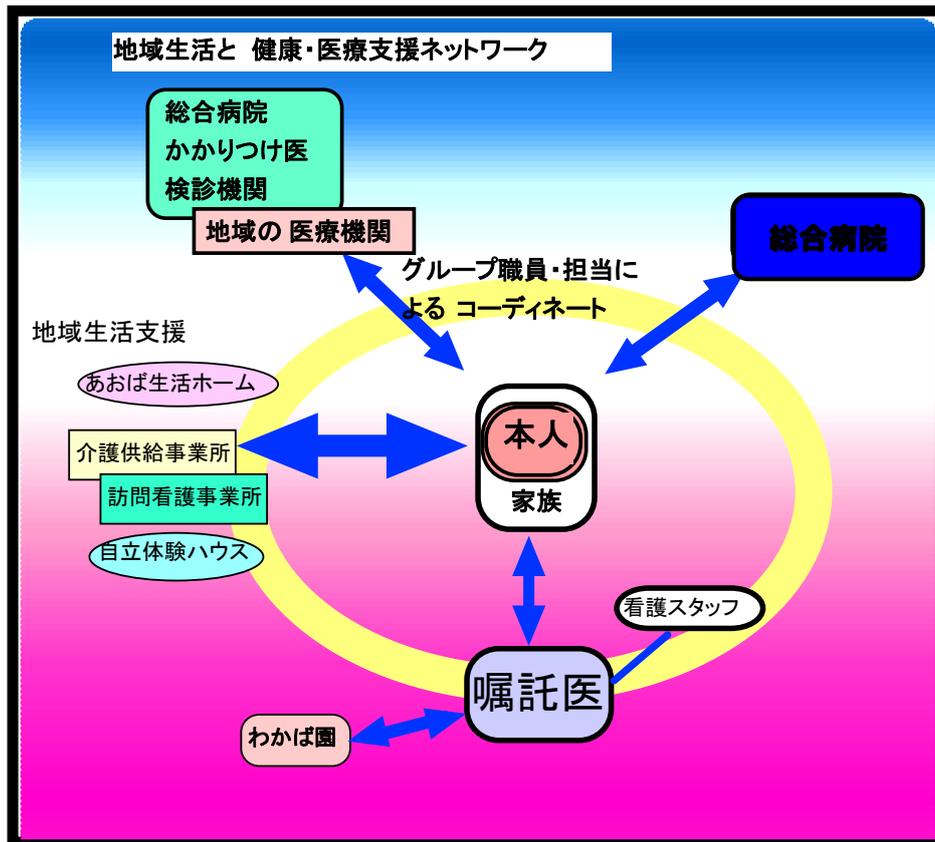




15

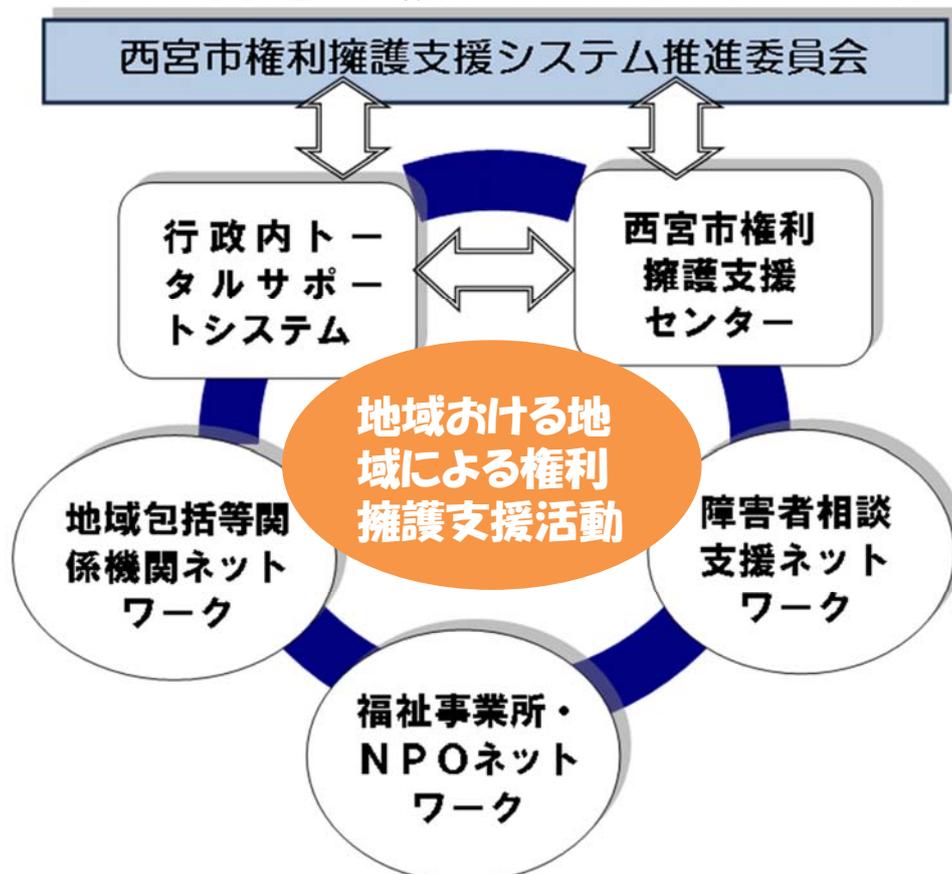






19

[全市的な権利擁護支援の仕組みイメージ図]



20

本人が西宮で生活主体者として生きる「支援の輪」が常に本人中心に稼働するようメンテナンスする

障害者生活相談・支援センター「のまネット西宮」

措置から利用契約の移行の中で意思表示が容易ではない地域自立生活(一人暮らし)者が自己の意思に基づき、堂々と西宮で暮らしていける方策として どうしても必要となってきた権利擁護支援機能の実体化

「PASネット」発足

西宮市民みんなの権利擁護支援システム構築に向けて

「西宮市権利擁護支援センター」

市内相談支援のネットワークあんしん相談窓口の相談支援専門員を結集

基幹型相談支援センター

障害者総合相談支援センター「にしのみや」

本人の希望に基づく計画相談の推進として

西宮市独自の「本人中心支援計画」づくり

西宮市の地域生活支援拠点の(あくまでも)面的整備の

発信起点として

地域共生館「ふれぼの」

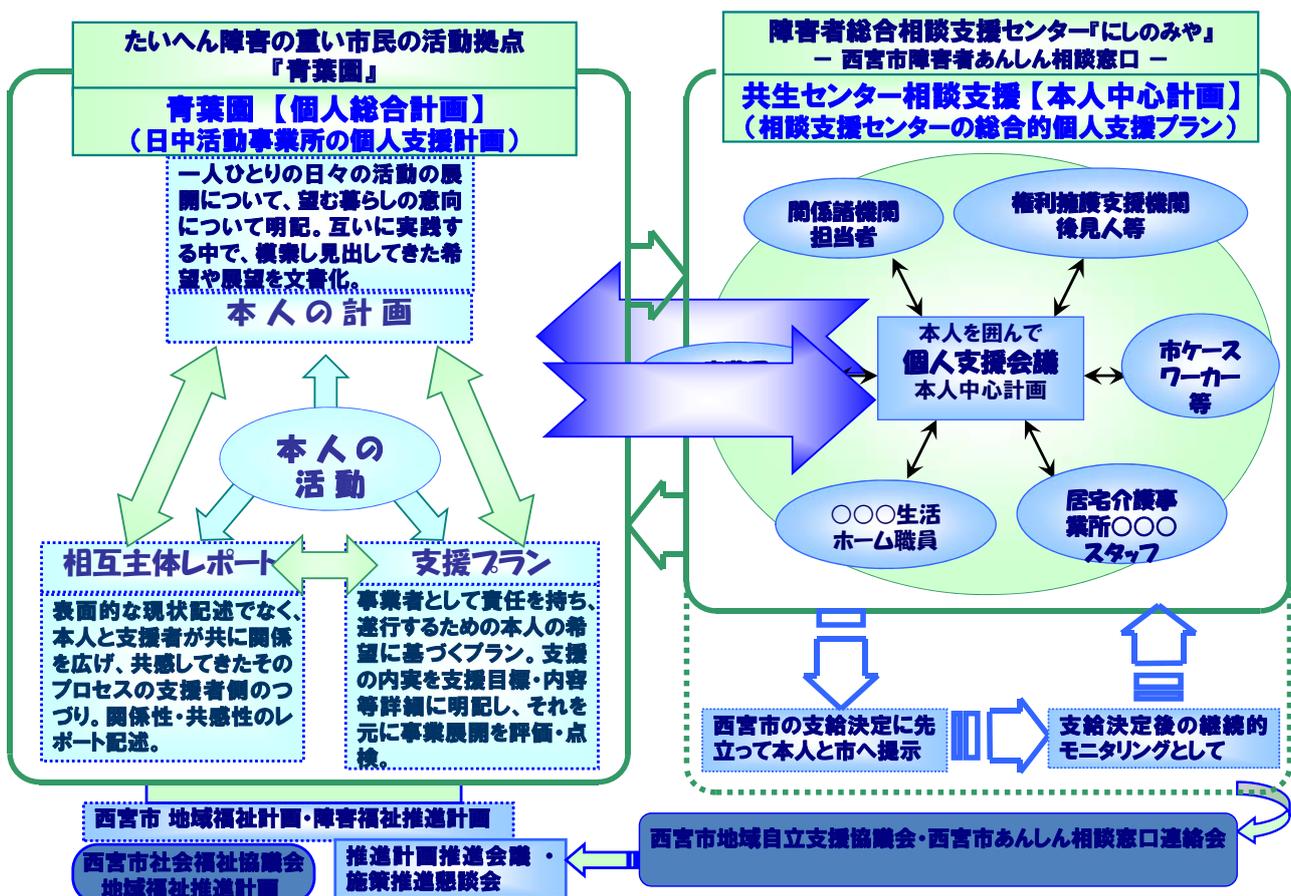
西宮社会福祉協議会 地域福祉推進計画における

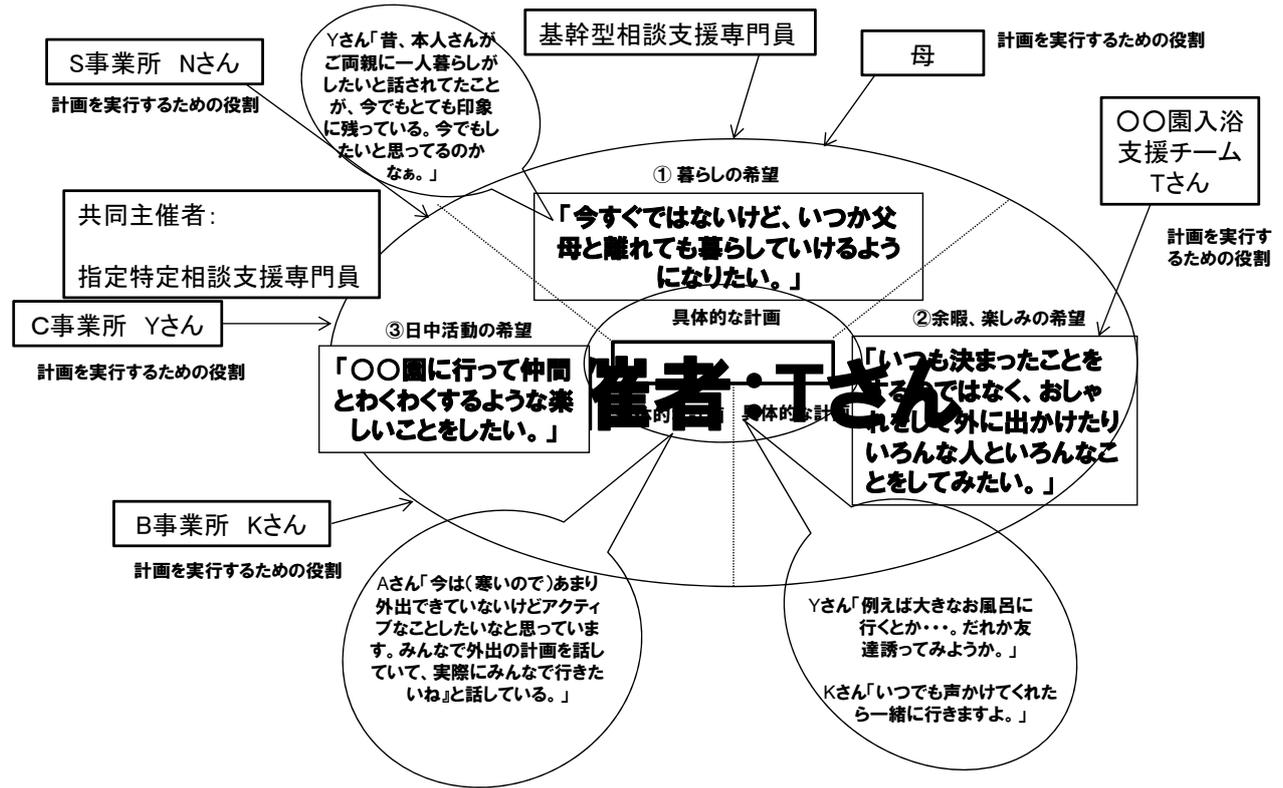
「共生のまちづくり」実践

【西宮市における本人中心支援計画づくり】

- 本人を囲んで関係者が一堂に会し、本人主催の本人中心支援会議を開催し、本人の希望に基づく本人中心支援計画フォーマットにより計画を作成する西宮市独自方式での計画相談展開、本人中心支援計画づくりが市内全域で進められている。

本人中心支援に向けて【活動】と【支援の輪】の〈本人の計画〉～青葉園・西宮市の場合～





本人中心支援計画案(サービス等利用計画案)

氏名: _____ 日時: 年 月 日 会議参加者: _____

	大きな希望・目標	それに向かって1年(半年)位の具体的な実行計画(一定の実行期間を提示)	モニタリング時点で達成した事項及びなぜ達成できなかったかの説明				
			本人	(家族)	(支援A)	(支援B)	(行政・その他自由に追加可能)
暮らしの場	どこで・誰と・どんな暮らしがしたいのか						
日中活動(仕事など)	平日の日中はどこで・誰と・どんな仕事(勉強)がしたいのか						
余暇・楽しみ・活動	休日や仕事のあと、どこで・誰と・どんなことがしたいのか						
本人署名:	事業所名・相談支援専門員: 基幹型相談支援員:		次回見直し予定日: 年 月 日				







31



32



33



地藏盆に参加



「もう芽は出たかなあ・・・」

散歩の途中で何度も畑に見に行きました。



夏野菜の植え付け・収穫

きゅうり・ゴーヤ・いんげんまめ・なす・
ミニトマト・ピーマン・ししとう・・・

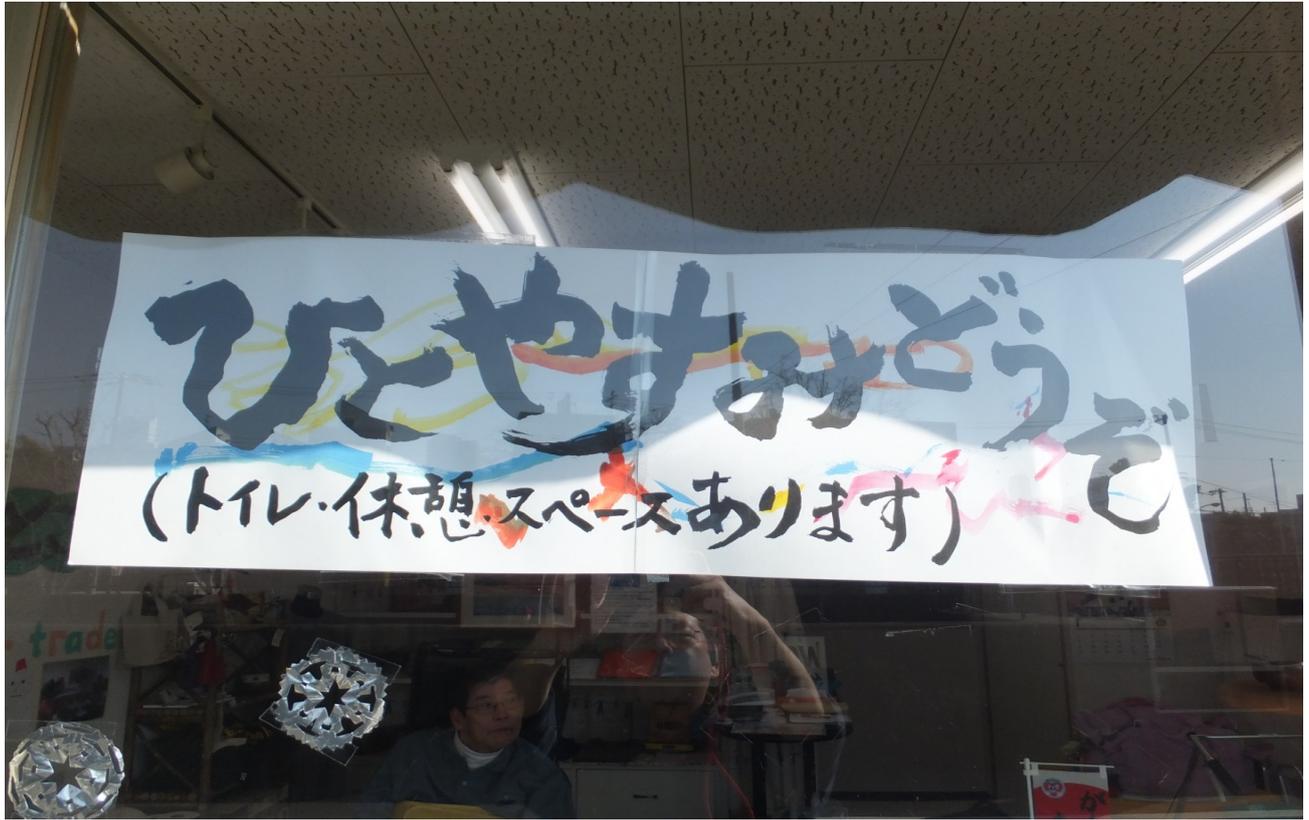






地域住民として1人ひとりの 役割づくり居場所づくり





41



42





地域共生館
ふれぼの









地域共生館
ふれぼの





55













65

















79



80



81



82





85



86

概要

- ※ 平成29年度活動計画では、西宮市社会福祉協議会の第8次地域福祉推進計画”みんなで創り出す共生の『まちづくり』”を受け、基本的には昨年度の活動を継続実施しつつ、その展開の基本概念に「人と人の繋がり」と「生きがいづくり」を重視し、特に、「まちづくり」を意識し、浜脇地区内の各種団体(自治連合会・老人クラブ等々)との連携をさらに強化実施することとしていました。
- ※ 特筆すべき具体的な活動としては
 - ・ ボランティアセンターでは、小中学校での障害を持つ生徒の水泳プール授業の見守りの他、小学校「ひまわり学級」の遠足支援(同行見守り)を実施
 - ・ 障害者福祉部会では、「障害を持つ方の家族との懇談会」を3回実施
 - ・ 「浜脇まつり」では青葉園と共に「ワークメイト西宮聖徳園」にも声掛けをして一緒に出店することができた。
 - ・ 地区運動会では、青葉園との混成チームで「ホールインワン競技」に出場し見事2位を獲得

平成29年度 事業報告書(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

<p>① 総会・福祉委員会(計3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 4月 総会(昨年度活動報告・収支決算報告及び次年度活動計画・日赤会員増強依頼) ※ 9月 第2回委員会(活動中間報告・長寿をたのしむつどいの計画発表と共同募金依頼) ※ 11月 第3回委員会(活動のフォローと歳末助け合い運動依頼) <p>② 「長寿をたのしむつどい」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 10月14日(土)13:30～小学校講堂にて 65歳以上の参加者228人(内スタッフ46人) ※ 福祉委員総出の手作り「歌謡ショー」で満足頂いた <p>③ 福祉委員管外研修会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 11月27日(月) 舞鶴方面(引揚記念館見学) 33人参加 <p>④ 役員会・理事会(計12回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 地域福祉の課題検討等 <p>⑤ 社会福祉センター「西波止会館」の運営</p> <p>⑥ 市社協各種委員会等への参加</p>
<p>① 広報紙「はまかせ」の編集・発行(計6回発行・毎回約7,500部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 出来るだけ最新情報を心がけたため発行日が遅れたことがあった ※ 各部会の活動状況を分かりやすく紹介することに努めた
<p>① 幼稚園・保育所・小学校・中学校等との世代間交流を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 浜脇小学校での交流活動(老人クラブからの参加者が徐々に増加傾向にある) <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブと小学生との給食交流会(計2回 延125人参加) ・ 老人クラブ等とのクレーン活動(67人参加) ・ 老人クラブから卒業生に「祝福の手紙」贈呈(22人参加) ※ 「長寿をたのしむつどい」での交流活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校児童によるオープニングダンスの披露、老人クラブへの「励ましの手紙」贈呈 ・ 中学校生徒による「長寿をたのしむつどい」進行手伝いとブラスバンド演奏の披露 ※ 老人昼食会での交流活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜脇保育所児童(27人)と老人昼食会参加者との七夕会 ・ 浜脇幼稚園園児とのクリスマス会(幼稚園で) <p>② 浜脇児童館にて2つの鉄道模型を披露</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年好評だった「Nゲージ鉄道模型」に加えて「HOゲージ鉄道模型」の披露を実施し、児童館の児童とその保護者も含め好評を得ました

<p>① 各種募金活動を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 総会・福祉委員会等を通じ、趣旨説明・協力要請を実施 ※ 「赤い羽根・共同募金」では、阪神西宮駅付近で街頭募金を実施 ※ 募金活動の成果は下記の通り <ul style="list-style-type: none"> ・ 日赤会員増強運動 … 936,689円 ・ 共同募金 … 951,489円 ・ 歳末助け合い … 582,476円 ・ 社協会員会費増強 … 306,500円 <p style="text-align: right;">ありがとうございました</p>
<p>① 「高齢者いきいきサロン」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ サロン浜脇(原則第1水曜日13:30～ 浜脇公民館) <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜脇地域包括支援センターの支援を得て開催(10回実施 延べ183人) ・ 簡単な健康診断(血圧・握力・脳反応等) ※ サロン産所(原則第2水曜日13:30～ 産所町集会所) <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオ鑑賞、各種ゲーム、カラオケ等を実施(10回実施 延べ113人) ※ サロン西波止(原則第3水曜日13:30～ 西波止会館) <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオ鑑賞、各種ゲーム、カラオケ等を実施(9回実施 延べ50人) <p>② 「共生のまちづくり事業助成金」でポチャを購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 障害者福祉部会と連携し「ポチャ」の普及に取組む
<p>① 浜脇まつり・浜脇地区運動会に青葉園を招待</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 浜脇まつりでは、青葉園とワークメイト西宮聖徳園からの出店参加があり賑わった ※ 地区運動会では、青葉園との混成チームで「ホールインワン競技」に出場し見事2位を獲得 <p>② 障害者の家族の方々の懇談会を実施(3回実施 延べ73人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ ポチャで体と気持ちをほぐしてからグループ懇談会を実施。青葉園とワークメイト西宮聖徳園参加もあり徐々に意義が深まってきた感がある。 <p>③ ボランティアセンターと連携し浜脇小学校の「車いす体験」「ひまわり学級支援」に参加</p> <p>④ 「ポチャ」の普及に着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 市社協主催の「ポチャ大会」に参加し、「大会」の体験と他地域の状況を観察
<p>① 0歳～3歳児とそのお母さんを対象に子育て支援活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「お母さんといっしょ・公民館」の実施(原則第4水曜日10:00～) <ul style="list-style-type: none"> ・ 母親同士の情報交換や悩み事相談等を実施(4回 延155人参加) ※ 「お母さんといっしょ・プレーパーク」の実施(原則第2水曜日10:00～) <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏場冬場の参加に難、また雨天は中止となり運営に苦慮(4回 延47人参加) ※ 「お母さんといっしょ・運動会」の実施(6月18日 193人参加 浜脇小学校体育館) <ul style="list-style-type: none"> ・ お父さん、おじいさん、おばあさんを含めてワイワイ楽しく ※ 「お母さんといっしょ・クリスマス会」を実施(51人参加 浜脇公民館) <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て講座(オイルレスペーパーマシーン 2回 59人参加)…相変わらずの人気 ※ 「ひなまつり」を実施(新報行事 1回 64人参加)
<p>① 浜脇地区ボランティアセンターを開設(計98回 毎週火・金曜日10:00～12:00 浜脇公民館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 「もしもしコール」(高齢者(希望者)への定期電話訪問・対象11人 延べ24回) <ul style="list-style-type: none"> ・ 心待ちにされている様子もあり、電話の中で家事手伝いの要望も散見され、簡単な内容は応じた。 <p>V ② 個々のボランティア派遣 11件(買い物支援・車庫取り替え等)</p> <p>C ③ 浜脇小・中学校障害児の支援実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 昨年からの水泳授業の見守りに加えて、浜脇小学校ひまわり学級の遠足に同行支援を実施 ※ 浜脇小学校の「アイマスク・車いす体験講座」に準備段階から積極的支援を実施 ※ けがをした児童のトイレ支援 ※ その他、御前浜浜脇環境学習や浜脇つ子カーニバルを支援 <p>④ 浜脇デイサービスの夏祭り支援(8月24・25・26 延べ15人参加)</p>
<p>① ボランティア「浜友」による高齢者対象の昼食会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 65歳以上の「ひとりで暮らし老人昼食会」の展開(原則毎月第2・4水曜日 17回) <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月公民館の工事のため2回休止するも 延べ1,044食(順調な伸び) ・ 異世代交流部会と連携し、七夕会(7月 浜脇保育所児童)を実施 ・ クリスマス会(浜脇幼稚園児童)は公民館工事のため実施できず ※ 80歳以上の「ふれあい昼食会」を実施 ・ 北地区50人 南地区62人の参加があり盛況

案 平成29年度各事業報告・各収支決算報告・監査報告

概要

平成29年度活動計画では、西宮市社会福祉協議会の第8次地域福祉推進計画”みんなで創り出す共生の『まちづくり』”を受け、基本的には昨年度の活動を継続実施しつつ、その展開の基本概念に「人と人の繋がり」と「生きがいづくり」を重視し、特に、「まちづくり」を意識し、浜脇地区内の各種団体(自治連合会・老人クラブ等々)との連携をさらに強化実施することとしていました。

特筆すべき具体的な活動としては

- ・ ボランティアセンターでは、小中学校での障害を持つ生徒の水泳プール授業の見守りの他、小学校「ひまわり学級」の遠足支援(同行見守り)を実施
- ・ 障害者福祉部会では、「障害を持つ方の家族との懇談会」を3回実施
- ・ 「浜脇まつり」では青葉園と共に「ワークメイト西宮聖徳園」にも声掛けをして一緒に出店することができた。
- ・ 地区運動会では、青葉園との混成チームで「ホールインワン競技」に出場し見事2位を獲得

29年度 事業報告書(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

総会・福祉委員会(計3回開催)

- ※ 4月 総会(昨年度活動報告・収支決算報告及び次年度活動計画・日赤会員増強依頼)
- ※ 9月 第2回委員会(活動中間報告・長寿をたのしむつどいの計画発表と共同募金依頼)
- ※ 11月 第3回委員会(活動のフォローと歳末助け合い運動依頼)

「長寿をたのしむつどい」を実施

- ※ 10月14日(土)13:30～小学校講堂にて 65歳以上の参加者228人(内スタッフ46人)
- ※ 福祉委員総出の手作り「歌謡ショー」で満足頂いた

福祉委員管外研修会を実施

- ※ 11月27日(月) 舞鶴方面(引揚記念館見学) 33人参加

役員会・理事会(計12回開催)

- ※ 地域福祉の課題検討等



はまかせ 福祉のたより

第 116 号

西宮市
浜脇地区 社会福祉協議会

令和元年 9 月 1 日

社協浜脇 障害者福祉部会主催

「青葉園」「ふれぼの」との交流会開催 (7月6日(土))



毎年恒例の交流会。回転寿司での昼食会は青葉園の5名の方々を中心に総勢20名で賑やかにスタート。私が同席したMさんは最初は眠そうでしたが、マグロを注文したら、自らお箸を持ち何皿も完食。同伴の職員さんは、「夏は食欲が落ちるのに今日は凄い、嬉しい!」と。他の席も寿司、デザート、麺類と大満足の様子でした。

食事の後は「ふれぼの」でポッチャ大会。

車椅子の方々が「待ってたよ!」とコートサイドに整列され熱戦開始です。慎重に真剣に放たれた超ナイスショットには一同拍手喝采! その一方、力が入りすぎのコート外も…。笑顔と歓声で興奮の2時間でした。

誰もが一緒に楽しめるポッチャ。これからもっと大きく交流の輪が広がりますように。

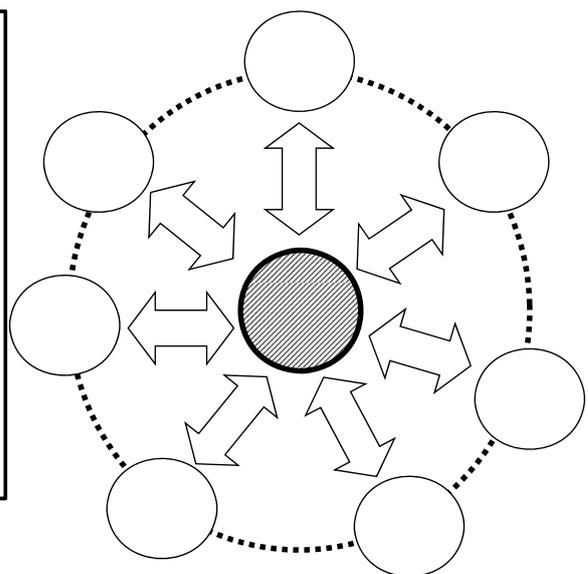


しみたおもてなし



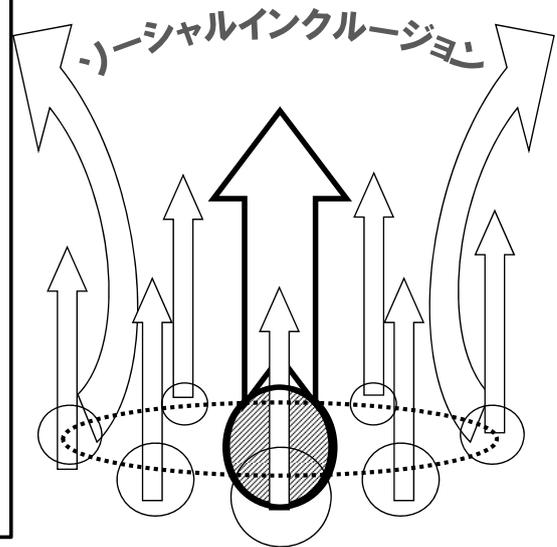
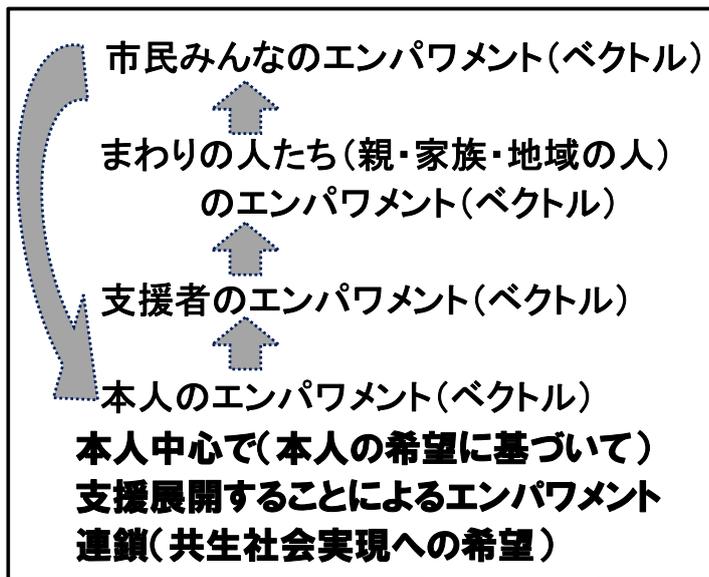
本人中心支援の展開を！

- 本人中心の支援 その主体をはずすな！
(主体の排除に対する抵抗としての
本人中心の支援)
- 本人中心に生み出されてくる展開を！
(一人ひとりを主人公にした
本人の物語が展開)
- 地域の中で本人中心で支援を！
(その人の存在が持ついくつもの
社会的役割を共に果たしていく)



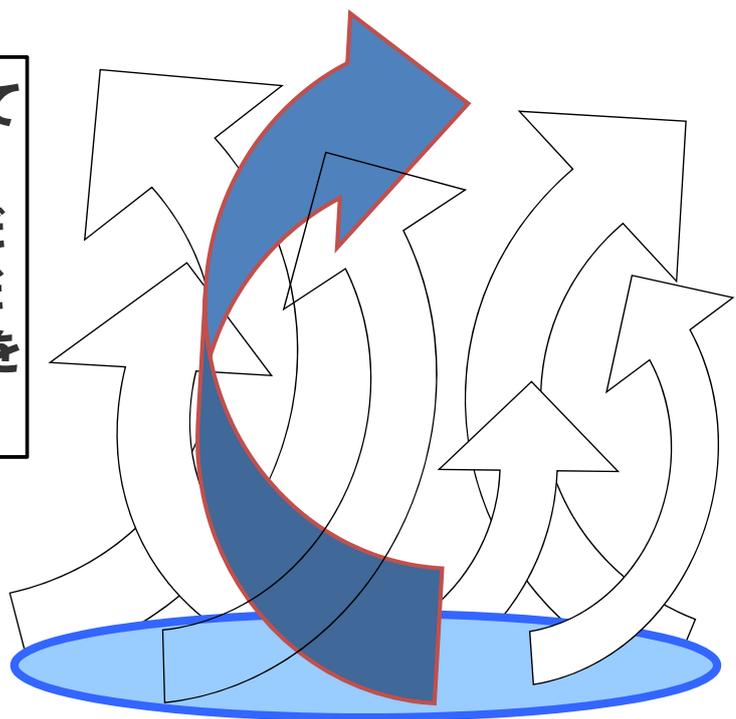
- 本人(市民)
＜障害当事者＞
- 支援者・市民
＜専門職＞

横から見ると、立ちあがっていくベクトルたち 〔エンパワーメント連鎖〕

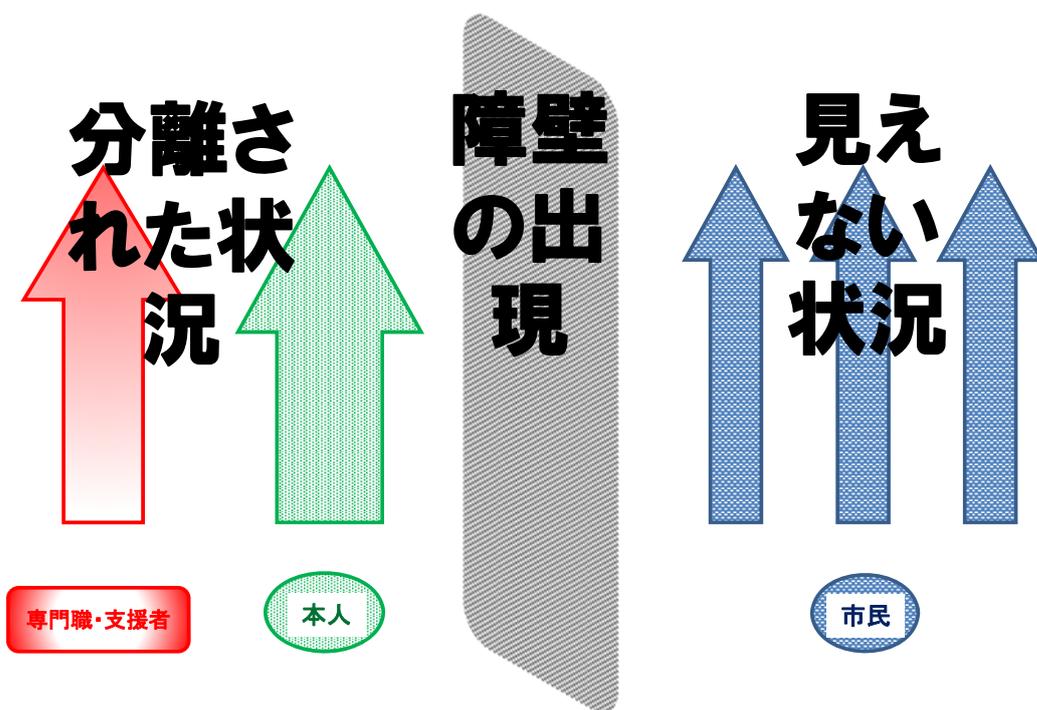
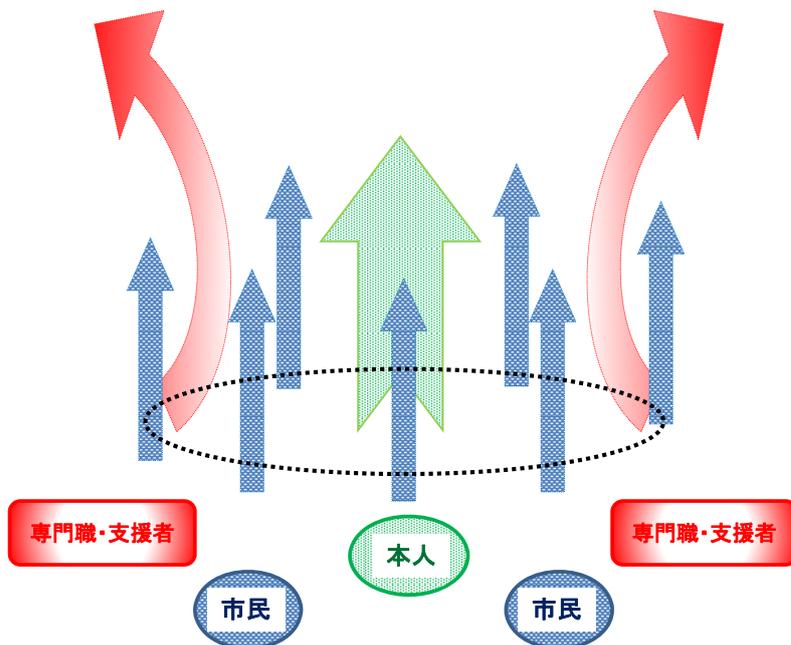


一人ひとりがその人らしく生きていく日常こそが価値であり希望！
新たな価値観による持続可能な生産的市民社会の形成

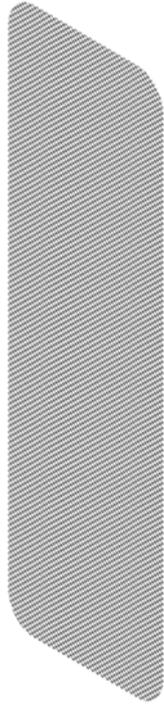
揺れる主体に基づいて
共に立ち上がっていく
こと (一緒に喜んだり、
悲しんだり、悩んだりして、
一緒に 希望を
持ってやっていくこと)



本人、市民、支援者相互エンパワーメント みんなで創り出す持続可能な共生のまちづくり



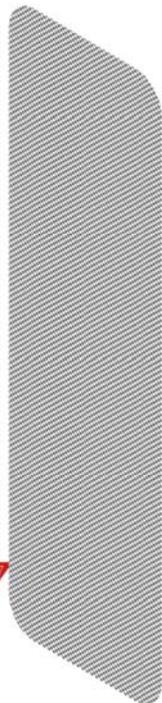
支援者による本人の客
体化



壁の向こう
へ行くまで



相互ディスエン
パワーメントによる破滅

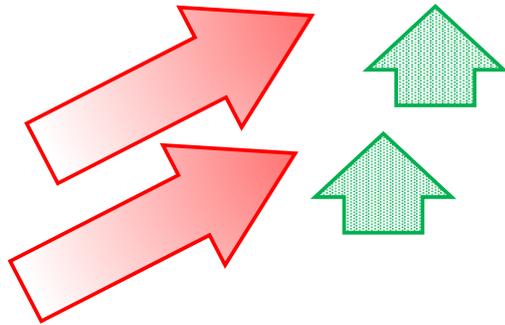


希望のない社会の
出現

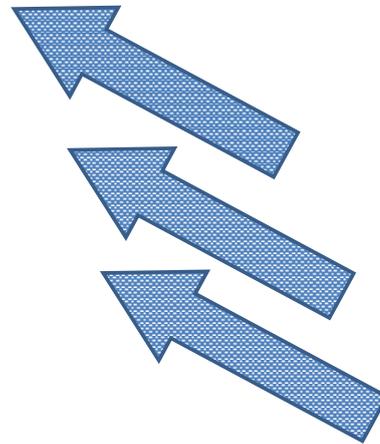


両側からしか障壁は崩せない 生きていく力を重ね合っていく

本人と共に障壁に立ち向かう本人中心
の支援展開
本人と共々のソーシャルアクション

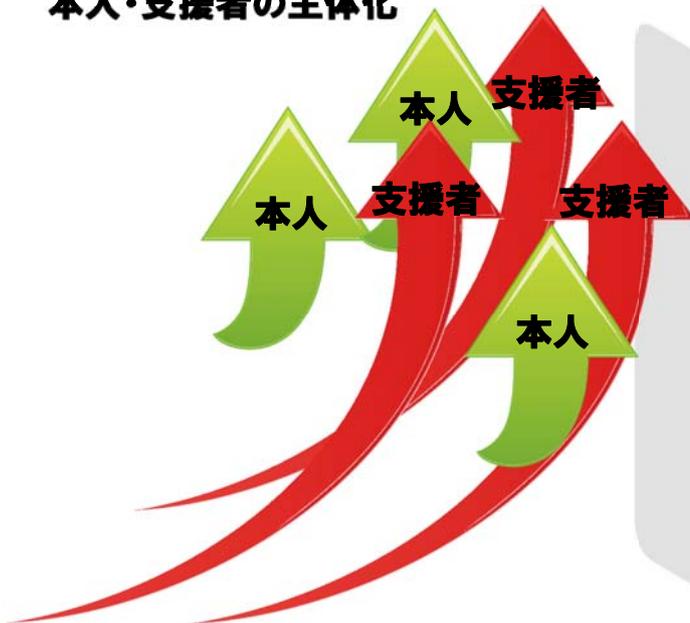


市民の立場から障壁に立ち向かう行動
住民主体の地域福祉開発実践

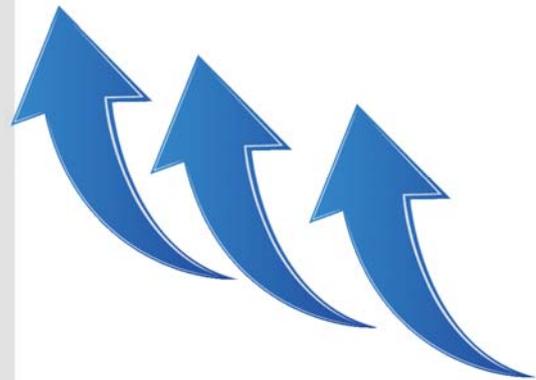


消えていく障壁！

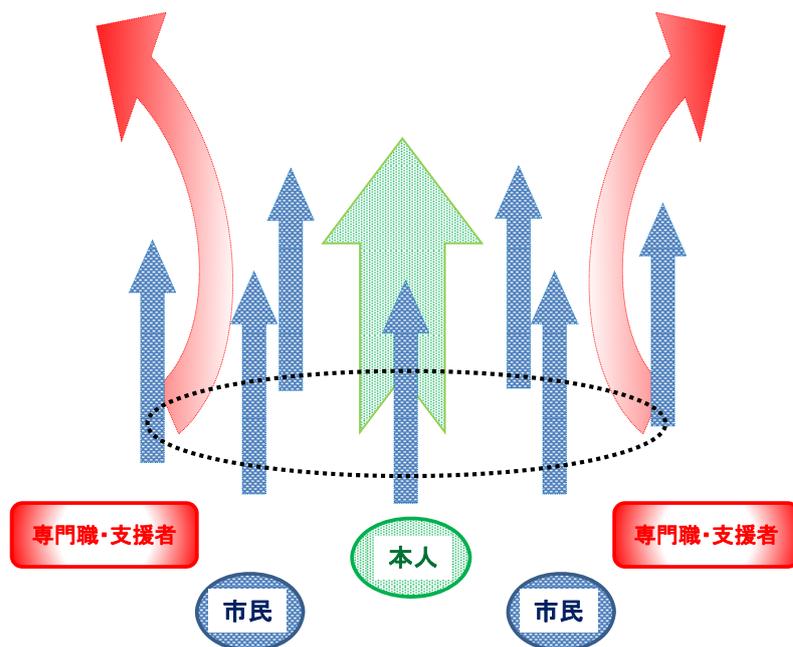
本人・支援者の主体化



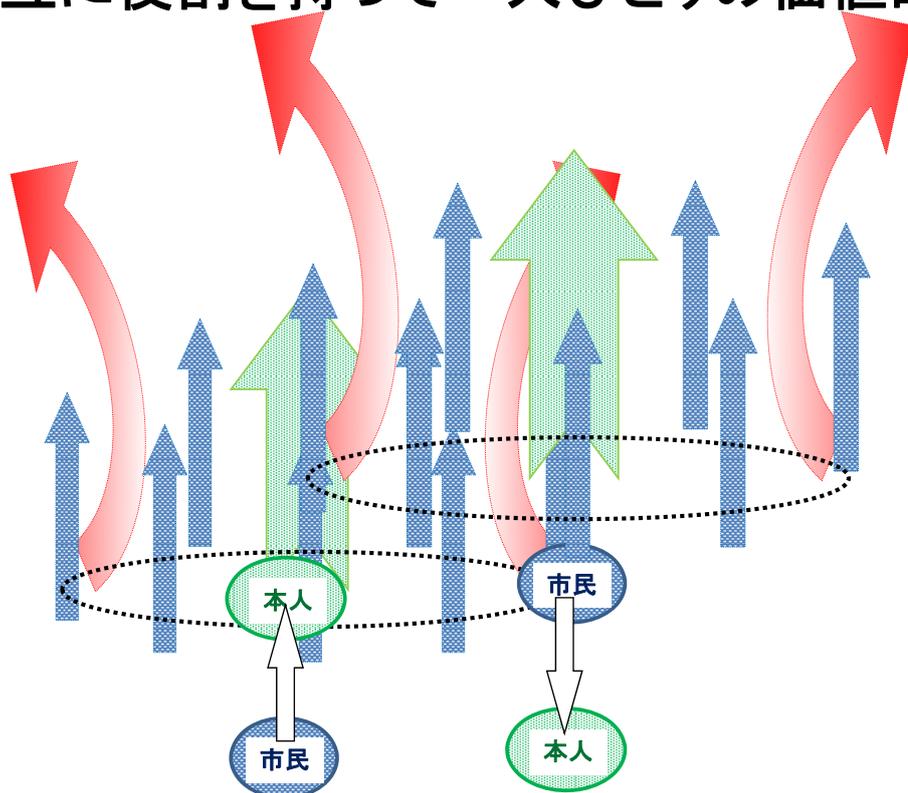
市民の主体化



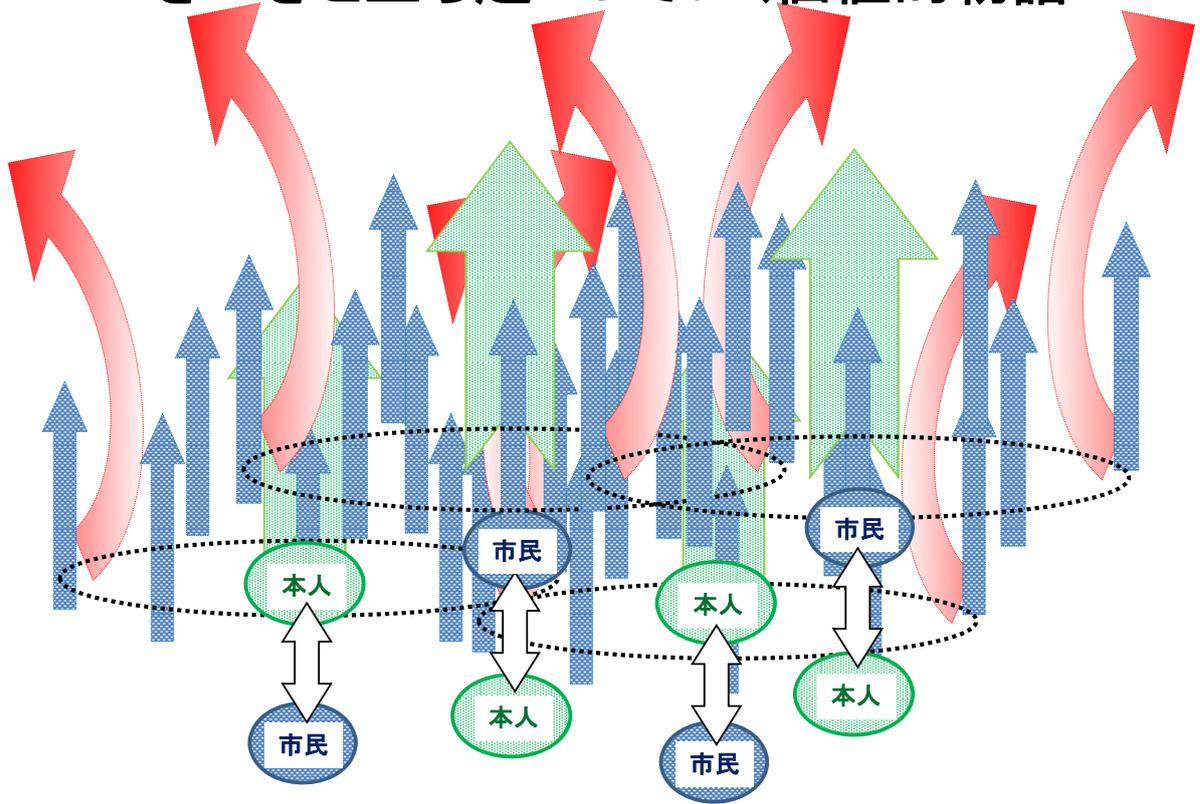
本人、市民、支援者相互エンパワーメント みんなで創り出す共生のまちづくり



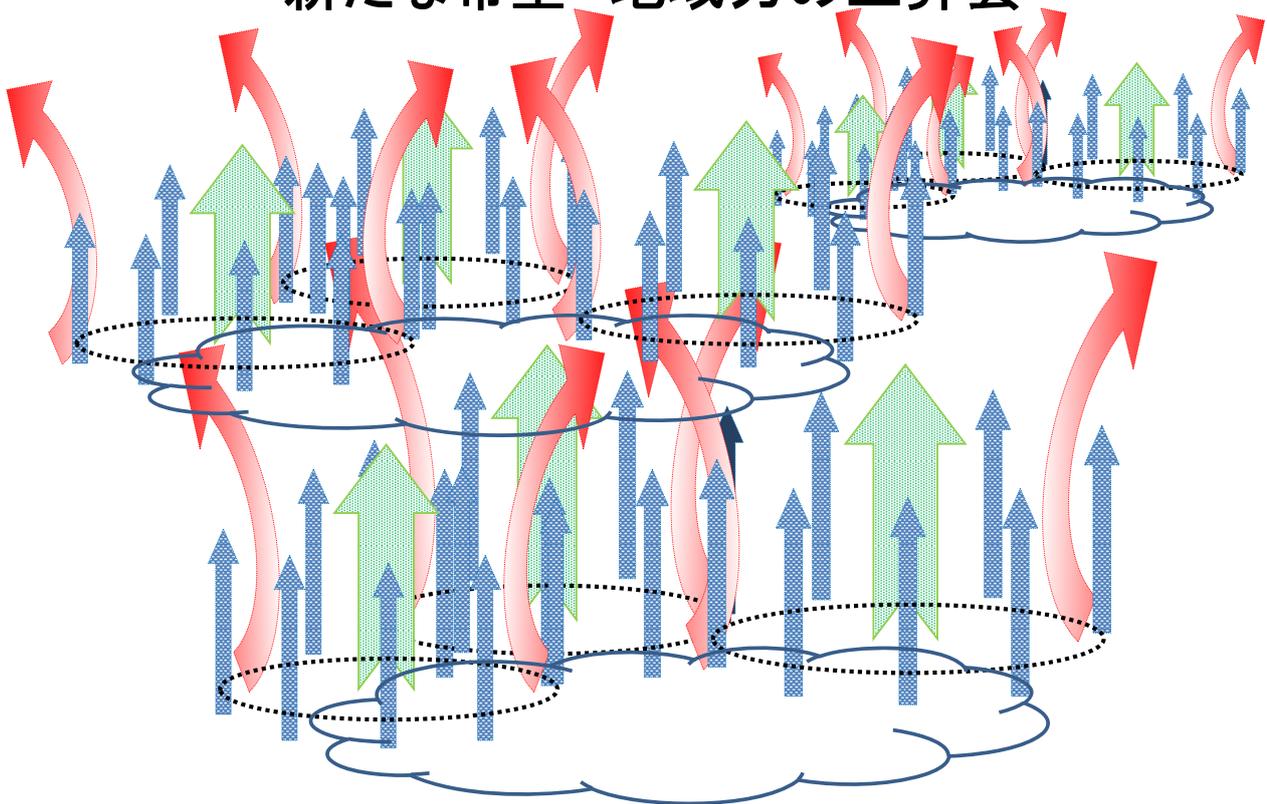
一人ひとりが一人ひとりの価値的物語を生きる 相互に役割を持って一人ひとりの価値的物語

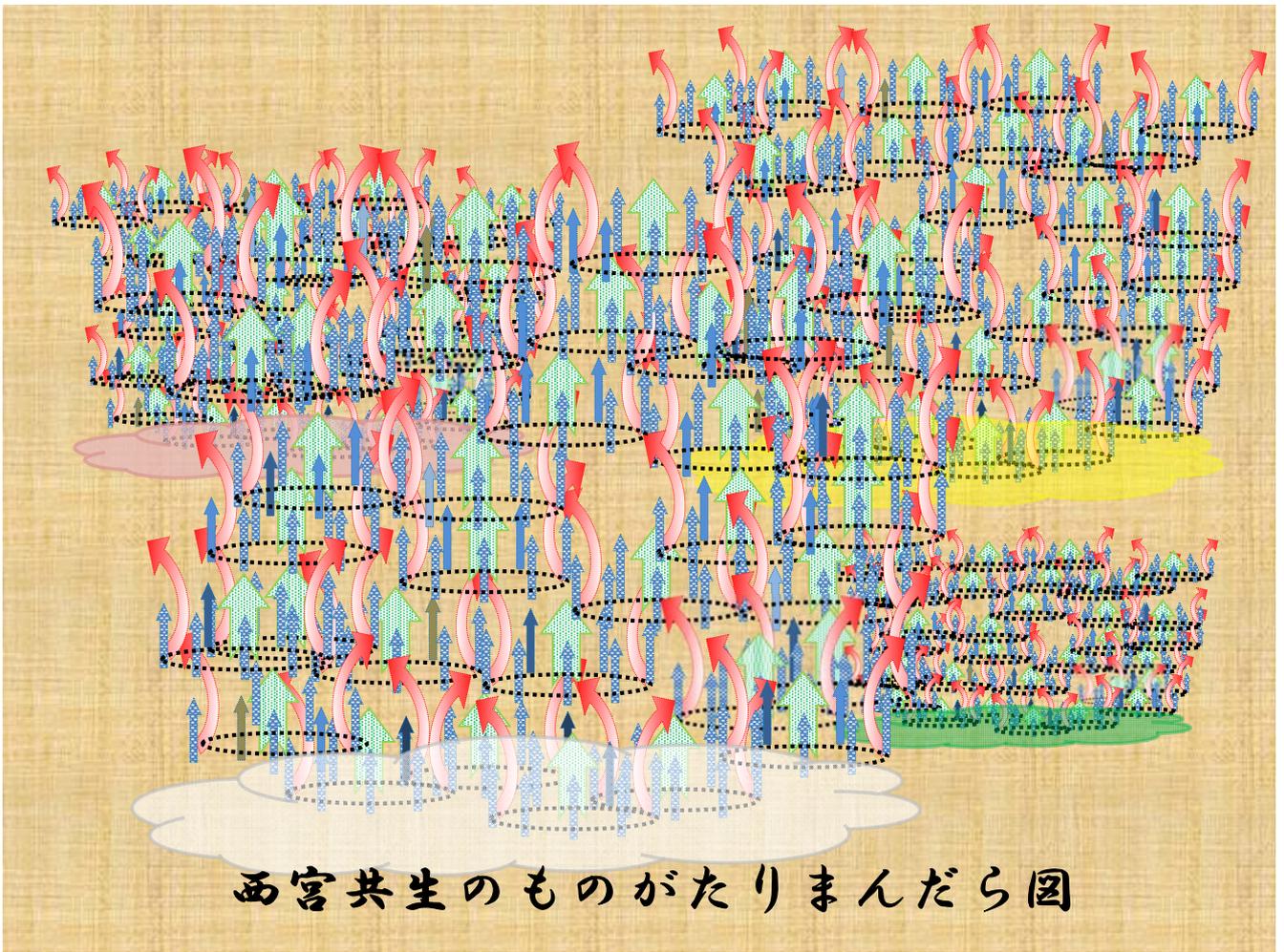


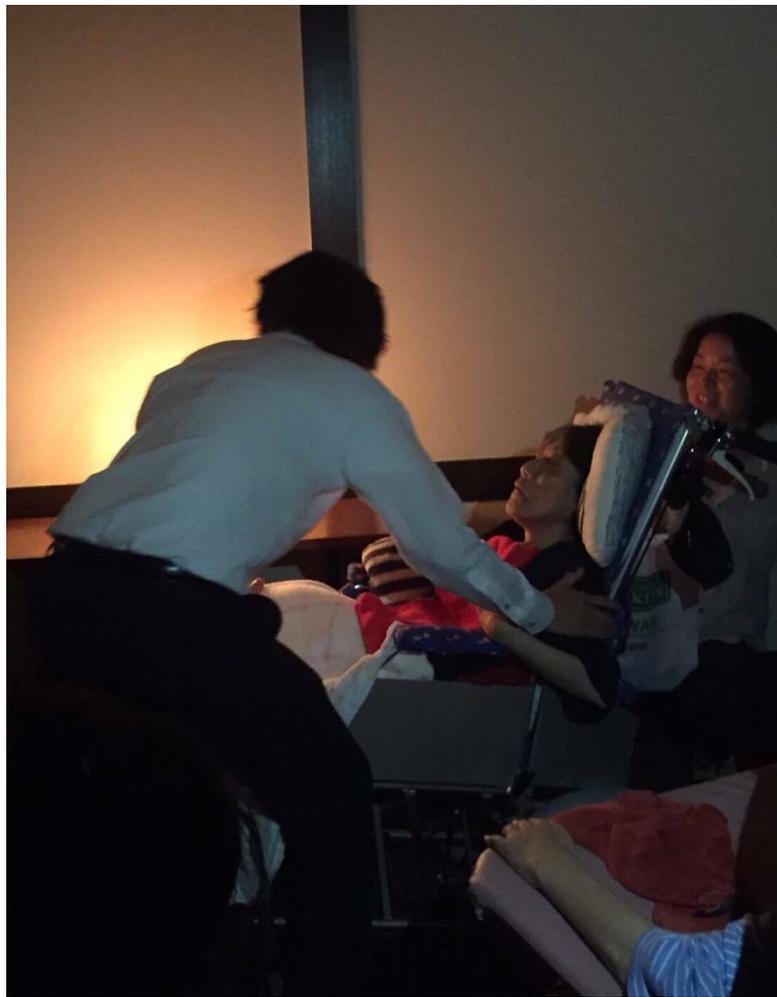
つぎつぎと連なっていく支援の輪
つぎつぎと立ち起こっていく価値的物語



町まちのいたるところに湧き上がる価値的物語
新たな希望 地域力の上昇雲







107



108



109



110

